

株式会社いちほらケーブルテレビ
令和4年度番組審議会 議事録

開催日時 令和5年3月14日(火) 14時00分～15時30分

場所 いちほらケーブルテレビ 会議室

出席者 〈審議委員〉 下記審議委員9名中6名出席

西岡 紀代一 様

白鳥 秀幸 様

菅家 啓一 様

岡本 修 様

外山 洋子 様

今泉 敬士郎 様

金井 保 様 ご欠席

時田 克男 様 ご欠席

秋葉 恵子 様 ご欠席

6名

〈いちほらケーブルテレビ〉

代表取締役会長 常木 真次

代表取締役社長 長谷川 達也

放送部部长 石垣 彰啓

放送部放送課課長 三浦 雅史

- 次第
1. 開会
 2. 番組審議委員紹介
 3. 代表取締役会長挨拶 (代表取締役会長 常木 真次)
 4. 議事
 - 1)令和4年度取り組みと放送実績報告
 - 2)審議番組視聴、審議

■「スギちゃんの市原が熱いんだぜえ」
 5. 代表取締役社長挨拶 (代表取締役社長 長谷川 達也)
 6. 閉会

代表取締役会長挨拶：いちほらケーブルテレビ 常木会長

当社放送部は限られた人数で番組制作をしており、規模的に10も20も番組を制作できるわけでないので一つひとつを大切に作っている。その中で題材選びと出来栄え、ストーリー仕立て等が揃った時にいい番組ができると思っている。本日、大まかな部分から細かい部分

まで忌憚のないご意見をいただき、それを番組制作に反映し、市原市民の皆さんに喜んでいただけるような番組制作に努めてまいります。積極的なご意見を賜ればと思います。

審議番組：「スギちゃんの市原が熱いんだぜえ」

番組概要：

【スギちゃんの市原が熱いんだぜえ】

観光スポット、今はやりの店舗や観光地、家族で遊べるレジャー施設など市原市の熱いスポットをスギちゃんが紹介する番組。

番組制作にあたり、市原市役所シティプロモーション推進課にご協力いただきロケ地候補を教えていただいた。

11月には新社屋完成記念特番として放送。新社屋完成にちなんで市原市内の「新」にちなんだ施設・店舗を紹介（「市原歴史博物館」、「ホテル辰巳倶楽部」、「新風堂」）。

1月からはレギュラー番組として放送開始し、「市原ぞうの国」、「サユリワールド」を紹介しました。今後は「VONDS市原」、「オリジナルメーカー海づり公園」、「ライオン千葉工場」を紹介していく予定になっている。

番組審議委員の意見

（西岡委員長）

- ・スギちゃんの明るいイメージが番組の大きな要素になっている。
- ・多くのスポットを紹介して欲しい。市原市外の人に観てもらおうのか市内の人に観てもらおうか、どの視点で制作するかで違った番組になると思う。面白い取り組みだと思う。
- ・市原市は広い地域で、色々特有なものがある。地域の人が観て喜んでほしいというのが主体にあると思うが、市内に住んでいても知らないことなどを基本理念に、取材先を決めると良いと思う。
- ・今回の番組のように千葉県・市原市の皆さんに興味をもってもらうことは大事だと思う。
- ・また、チャンネル内で市原の情報を取り扱う番組を増やしてほしい。

（白鳥委員）

- ・市原市に全国の古墳の1%があると初めて知った。
- ・1箇所を丹念に見せるなど、実際に訪れてみたいと思わせる動機づけにするため、取材先の絞り込みが大事だと思う。
- ・新しいものも大事だが不易流行の不易の部分こそ忘れてはいけない。古いものもちゃんと取り上げてバランスよくやっていくことが地元で浸透していくうえで大事だと思う。例えば更級日記は地元に住みながら知らない人が多い。歴史的なことを含めて市原市を掘り起こせば無尽蔵に題材はある。

- ・また、小湊鐵道のトロッコ列車など、身近なもの・地域密着で「そんなものがあるんだ」という題材を取り上げると良い。
- ・市原の再発見、気づきが他チャンネルとの差別化になる。ケーブルテレビならではの独自性、オリジナリティーがないと価値がなくなってしまう。

(菅家委員)

- ・市原歴史博物館の紹介に博物館までの行き方・交通アクセスの紹介があると良かった。生の情報を入れると視聴者はありがたい。
- ・市原市は人口が減ってきているので、市原市の魅力を発信し、関心をもってもらふ番組制作に取り組んでもらいたい。
- ・健康医療に関する番組を取り上げると視聴者の関心が上がると思う。
- ・若い人たち（視聴者）の意見を聞く場を別に設けた方が良いと思う。

(岡本委員)

- ・何でも新しいものを追いかけても限界があるので、再発見など色々な情報を発信して欲しい。
- ・今回は、色々なジャンルを出し過ぎたため、市原歴史博物館が薄い内容になってしまった。教科書に載っていない市原市独特な歴史のみ取り上げるなど、ジャンルを絞るのもよいかと思った。
- ・身近な密着した情報を伝えることが地元放送局の役目だと思う。市原市の魅力を強調していくと良いのではないか。
- ・放送局は地域の応援団であるべき。多少の競争はあると思うが、応援しているという姿を見せればファンが増えてくると思う。
- ・審議会のメンバーに若い人たちを加えていかないと新しい時代に合っていないのでは
- ・スギちゃんの明るさを活かして地域住民の悩みを再発見、解決していくと面白いし、スギちゃんも地域に愛されるキャラクターになると思う。

(外山委員)

- ・若い人が観たら喜ぶ番組だと思うが、その場で楽しいだけでは番組が生きていけない部分がある。
- ・地域情報番組は、ケーブルテレビでは面白い番組をやっているよと知らせることができる番組だと思う。
- ・全年代に合わせた番組を制作するのは難しいと思うが、様々なパターンで制作することでそれぞれの年代に合った番組になるし、飽きが来ないと思う。行事や団体などを取り上げる番組を制作することで、色々な世代に視聴してもらえと思う。

(今泉委員)

- ・あいチャンネルトピックスでは、多くの市内情報を取材して市原市の魅力を紹介している。今回の番組は、知名度と好感度のあるスギちゃんを起用した新しいチャレンジだと感じている。
- ・芸人が出演することで今までにない面白い番組になっていると思う。
- ・番組を観て面白いのは良いことだが、番組を観て行ってみよう、体験してみようと思っもらうことが大事だと思う。スギちゃんの楽しさでスポットの魅力をうまく伝えてほしい。
- ・現場で撮影しているスタッフは地域の情報を細かく熟知しているのでスポット選びには期待している。

代表取締役社長挨拶：いちほらケーブルテレビ 長谷川社長

本日いただいた意見を基に良い番組にしていきたい。

審議いただいた番組を制作するにあたってまず、知名度、好感度のあるスギちゃんがロケで市原市内を歩くことによって市原市民の皆さんが、あれは何だ・ケーブルテレビが作っているのかと興味を持ってもらえるのがコンセプトだと思っている。

そこから、どうすれば番組を見ることができるのか？からケーブルテレビに加入して、私達のお客様になってもらうことがもうひとつの狙いである。

もうひとつは、日本全国にある私たちグループケーブルテレビ局で放送し、市原の魅力を市外県外の皆様にもご覧いただき、市原にお呼びすることです。本日の番組でも市原の商品を長野や静岡でも買えますとご案内しております。これは市原で事業なさっている方々をこれから取り上げることによってその方々のご商売につながるようなものを発信できたらと考えております。

本日いただいたご意見をもとに色々なものを番組にしていき、市原市の魅力を市内外に伝えていきたいと考えています。地域の皆様と色々な形でつながって一緒に発展していきたいと思っています。

以上